

運輸審議会ご質問事項一覧
【平成29年5月16日審議】

番号	質問事項	ページ
1	広島電鉄株式会社は従前から10カードの一つであるICOCAの利用を受け入れていたの で、それほど費用をかけずに全国共通利用ICカードの利用受入に係るICカードセンターシ ステムの改修が可能であると理解してよいのか。	1

第2回運輸審議会宿題事項

広島電鉄株式会社は従前から10カードの一つであるICOCAの利用を受け入れていたので、それほど費用をかけずに全国共通利用ICカードの利用受入に係るICカードセンターシステムの改修が可能であると理解してよいのか。

- ・ ICカードシステム「PASPY」の導入については、平成9年3月より鉄軌道事業者及びバス事業者間で磁気カードを導入し相互利用を実施していたこと及び1事業者単独では導入費用の負担が大きいことから、複数事業者における共同構築、相互利用することとし、その際、JR西日本のICカード「ICOCA」が平成19年9月より広島地区に導入されることが予定されていたため、JR西日本との連携も勘案して、当初の計画において「サイバネ規格」に準拠したセンターシステムの構築を行ったもの。
- ・ ICカードシステム「PASPY」は、平成20年1月、広島電鉄他8事業者においてサービスを開始し、平成20年3月にはJR西日本「ICOCA」との片利用も開始したところ。
- ・ 今般の全国共通利用ICカードの利用受入に係る「PASPY」のICカードセンターシステムの改修については、「サイバネ規格」に準拠するための費用は導入時に負担しており、ハード面での新たな投資が生じないことからソフトウェアの改修のみで行うことができるものとのことである。

また、改修費用については、複数事業者が共同で負担することとなっているとのことである。

このため、比較的低廉な費用により改修が可能であると、広島電鉄から聞いている。

(参考)

○ I Cカードセンターシステム改修

広島電鉄の事業費 116 百万円 (うち補助金 38 百万円)

【内訳】

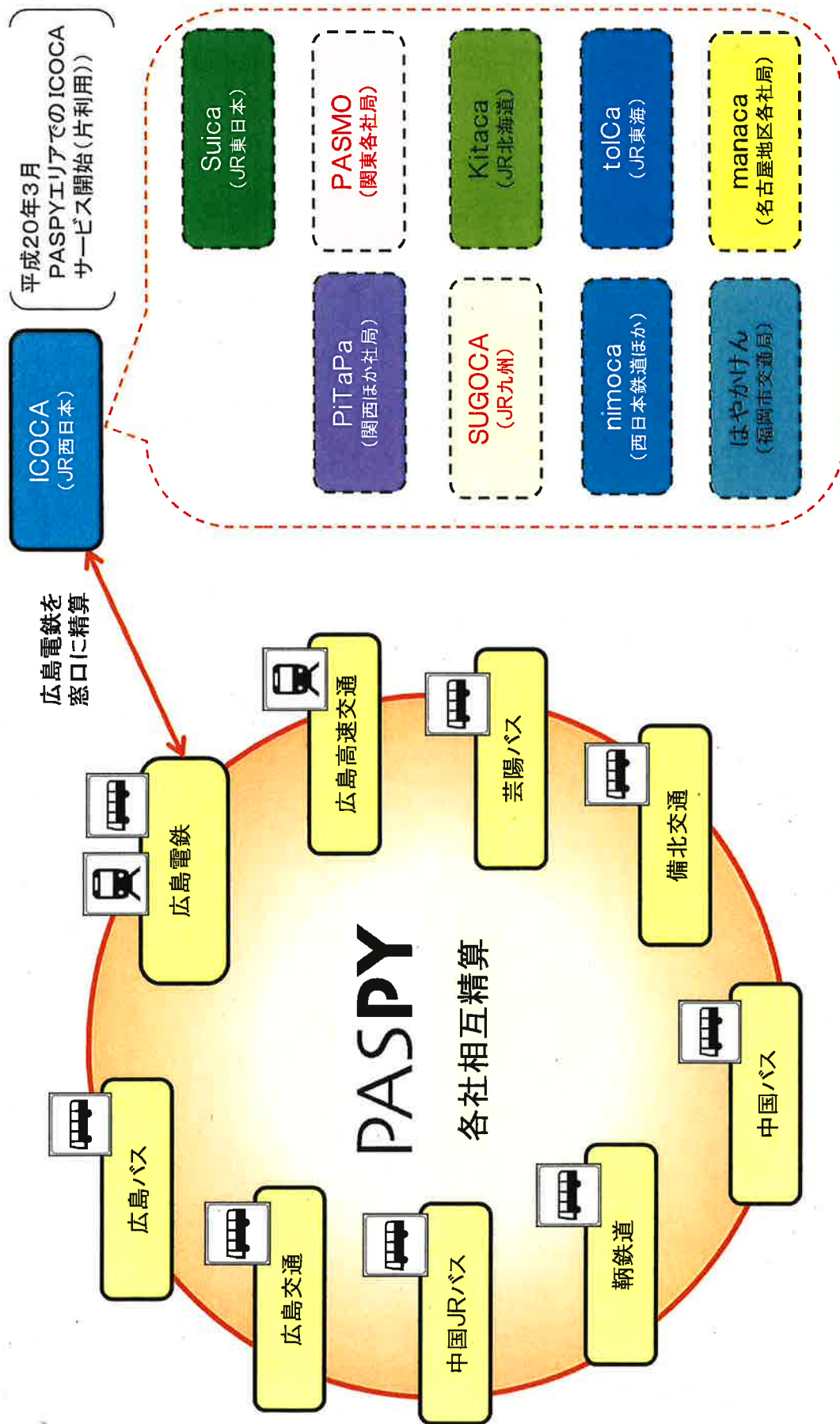
・ 全国共通利用 I Cカードの利用受入に係る改修費 147 百万円 (平成 29 年度)

うち広島電鉄の事業費 31 百万円 (うち補助金 10 百万円)

・ バスとの IC 共通定期導入に係る改修費 85 百万円 (平成 30 年度)

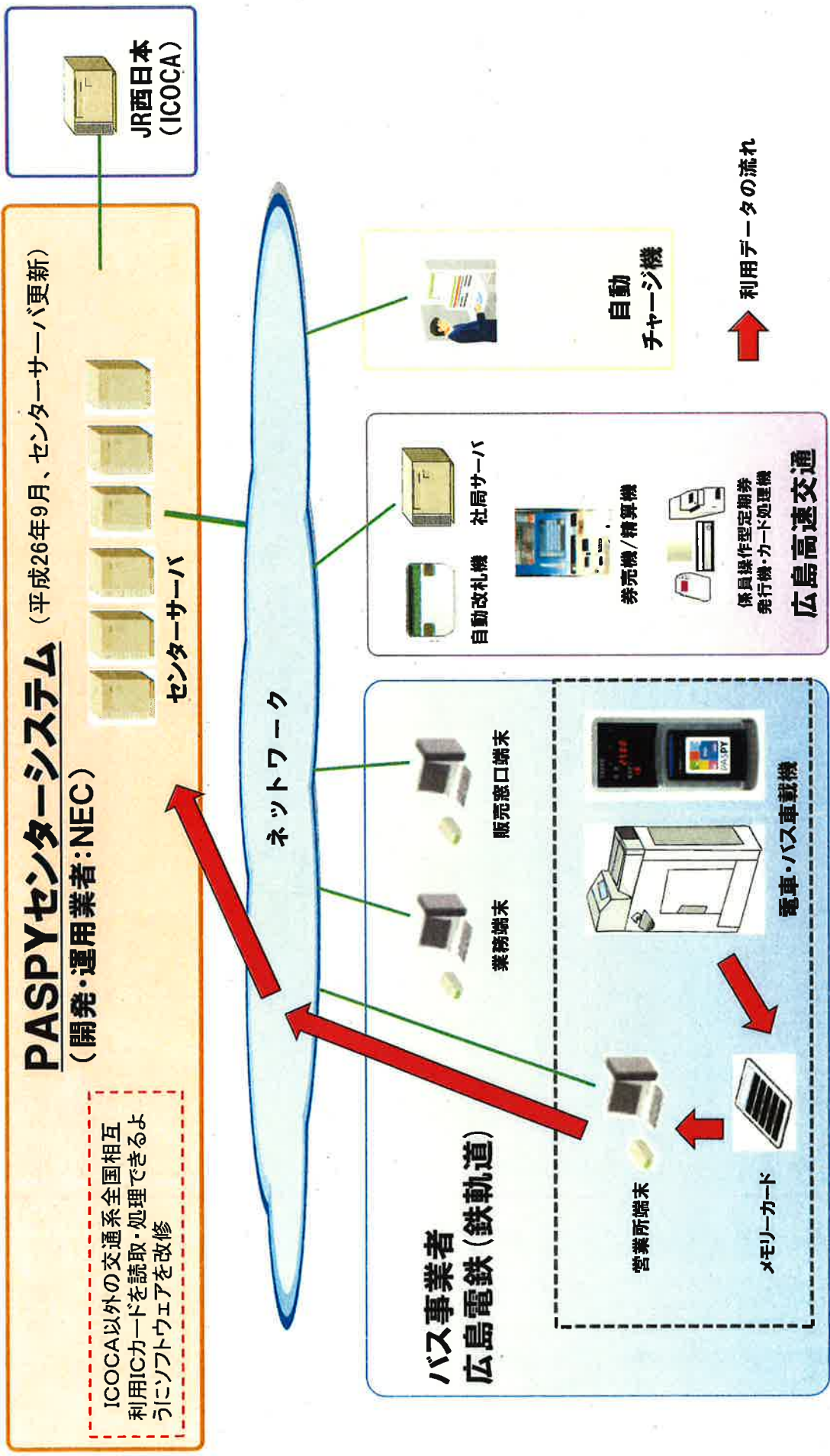
うち広島電鉄の事業費 85 百万円 (うち補助金 28 百万円)

PASPYシステムの枠組み(平成20年1月PASPYサービス開始)



交通系全国相互利用ICカード

PASPYのシステム構成



PASPYの利用可能範囲

